

第 6 次荒尾市総合計画(仮称)の基本目標(案)について

新・第 5 次荒尾市総合計画の成果や推進体制に係る検証結果等を踏まえ、第 6 次荒尾市総合計画(仮称)においては以下のとおり基本目標「あらお未来プロジェクト」を設定し、各部会長及び事務局担当課のマネジメントの下、庁内横断的に連携し推進を図ることとする。

■ 基本目標「あらお未来プロジェクト」(案)と推進体制

基本目標	部会長	事務局担当課
1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる (妊娠・出産・子育て支援、学校教育)	教育長	教育振興課 子育て支援課
2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる(健康、福祉、生涯学習)	保健福祉部長	すこやか未来課 保険介護課
3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる(雇用対策・就労促進、産業振興)	産業建設部長	産業振興課 農林水産課
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる(関係・交流人口創出、移住促進)	市民環境部長	くらしいきいき課 秘書広報課
5. 先進的で持続可能なまちをつくる (コンパクトシティ、公共交通、地域コミュニティ、循環型社会、広域連携、防災)	総務部長	都市計画課 政策企画課

※各基本目標の名称は仮称

【見直しの主なポイント】

○「子育て支援」と「教育振興」を一体的に推進

本市で子育てをしたいと思わない理由として「教育環境が充分でないから」という理由が多くなっていることや、子育てに関しては、高校や大学などの将来的な出費に関する不安も大きいと考えられることなどを踏まえ、本市で子育てしたいと思う人を増やすため、妊娠から出産、乳幼児期の切れ目のない子育て支援に加え、義務教育から高等教育までを見据えた一貫した対策を展開する。

○「地域共生社会の実現」と「市民の生きがづくり」に向けた取組み

高齢者や障がい者を含めあらゆる市民のつながりをつくることで暮らしの安心感を創出するとともに、生きがづくりを通じて暮らしの幸福感を高めるため、健康増進や生涯学習に関する取組みを併せて推進する。

○「移住促進」と「観光振興」を一体的に推進

本市への転入者は本市と何らかの関わりがある方の割合が多くなっていることを踏まえ、定住人口の増加に向けたプロセスとして、まずは、本市と継続的に多様な形で関わる人口である「関係人口」を増やし、関わりを深めることで、観光としての来訪(交流人口)や、その先の定住につなげていく対策を展開する。